



報道関係各位

2020年1月21日

森ビル株式会社

東京電力エナジーパートナー株式会社

## 虎ノ門一丁目地区再開発エリアにおけるエネルギー供給の開始について

森ビル株式会社(東京都港区、代表取締役社長：辻慎吾)と東京電力エナジーパートナー(東京都中央区、代表取締役社長：秋本展秀)は、共同で虎ノ門エネルギーネットワーク株式会社(東京都港区、代表取締役社長：中島慶治)を設立し、東京都港区虎ノ門を中心とした3地区<sup>※1</sup>の再開発事業において、効率的なエネルギー利用や防災性の高いエネルギー(電力・熱)供給を実現するための準備を進めてまいりました。

このたび、これら3地区のうち、「虎ノ門一丁目地区(虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー)」において、以下の特徴を備えたエネルギーの供給を開始しましたので、お知らせいたします。

### 1. 人工知能(AI)技術を活用した効率的なエネルギー利用を実現

人工知能技術を活用した統合エネルギー管理システムを導入することで、外気条件・排熱の利用等を考慮した高効率な電力・熱製造を行うとともに、ビルの中水熱等の未利用エネルギーの有効活用、隣接する地点間の電力・熱融通を行います。このように、エネルギーを効率的に利用することで、一般的な熱供給と比較して、CO<sub>2</sub>の排出量を20%削減することが可能となります。

### 2. 独自の配電網等による防災性の高いエネルギーネットワークを構築

エリア全体の要となる電力配電網(登録特定送配電事業<sup>※2</sup>)や熱供給導管を敷設し、広域送配電系統から独立した独自のネットワークを構築します。

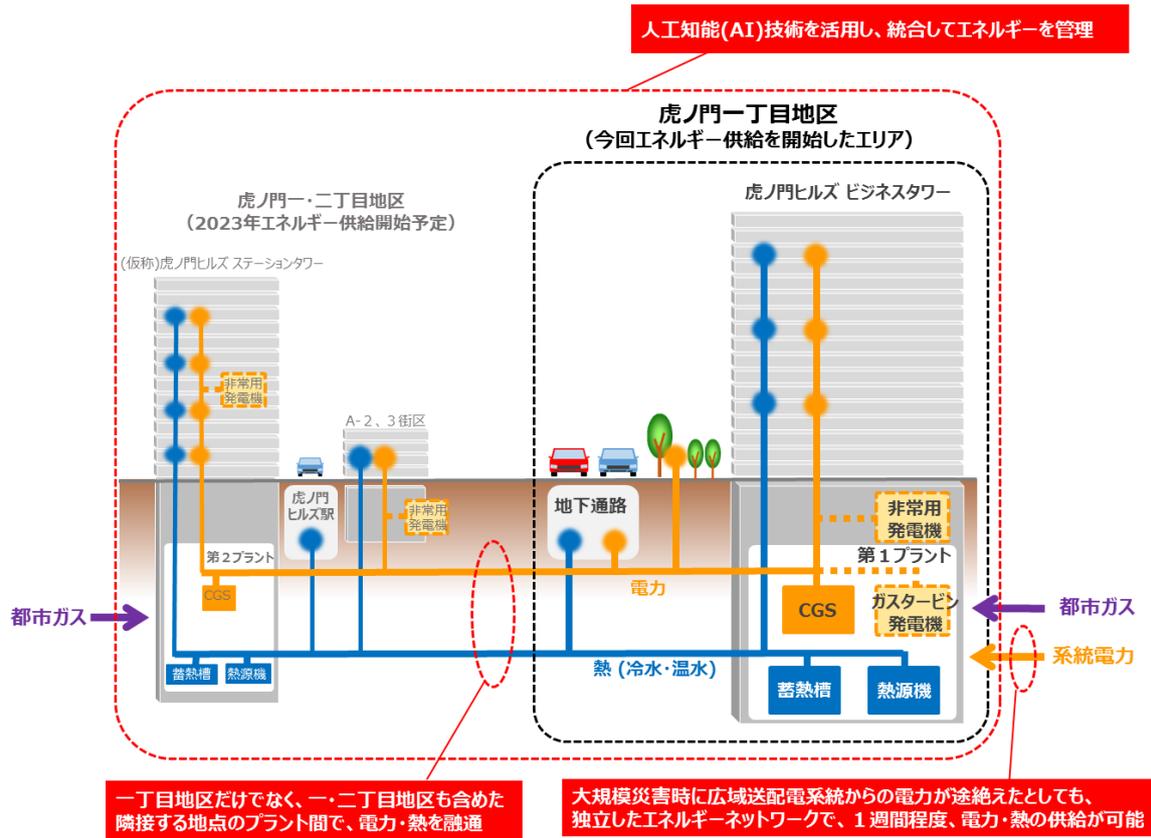
さらに、大型ガスコージェネレーションシステム<sup>※3</sup>等の最新鋭の自家発電システム、大規模水蓄熱槽・排熱利用設備を活用した熱製造システムを導入することで、大規模災害が発生した場合においても、都市機能や経済活動を維持するために必要な電力・熱を1週間程度、供給し続けることが可能となります。

#### 【本件に関するお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 03-6406-6606 落合、服部

東京電力エナジーパートナー株式会社 広報企画グループ 050-3116-3147 小林、手塚

<エネルギー供給システムの概念図>



以上

※1 虎ノ門周辺における再開発事業 (3 地区)

地区名	電力・熱供給の開始
虎ノ門一丁目地区 (虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー)	2020年1月15日
虎ノ門一・二丁目地区 ((仮称) 虎ノ門ヒルズ ステーションタワー)	2023年7月頃予定
虎ノ門・麻布台地区 (虎ノ門・麻布台プロジェクト)	2023年4月頃予定



※2 特定の供給地点において、送配電設備を維持、運用し、電気の託送および小売りを行う事業。

※3 都市ガスを燃料に発電し、同時に発生する熱エネルギーを空調等に利用するシステム。